



2024年5月14日

各 位

会社名 株式会社ヨコオ
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之
(コード番号 6800 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 SCI 本部長 多賀谷敏久
(TEL 03-3916-3111)

2024年3月期における営業外収益（為替差益）の計上及び
連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）における営業外収益（為替差益）の計上及び
連結業績予想値と実績値との差異に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当第4四半期連結会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）において、急激な為替相場の変動により、為替差益1,036百万円を営業外収益に計上いたしました。

第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）においては為替差益1,062百万円を計上済みであるため、当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）におきましては為替差益2,099百万円を営業外収益に計上しています。

2. 2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 差異の理由

売上高につきましては、VCCS、CTC及びFC・MDセグメントが円安効果などにより増収となったことから、下表のとおり予想値を上回りました。

営業利益につきましては、VCCSセグメントにおけるコストアップ分の回収進展及びコスト抑制に伴う利益率改善に加えて、CTC及びFC・MDの両セグメントにおける増収による増益などにより、下表のとおり予想値を上回りました。

経常利益につきましては、上記1. のとおり為替差益1,036百万円を営業外収益に計上したことなどにより、下表のとおり予想値を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、繰延税金資産の取り崩し620百万円及び海外拠点における税務調査での追加納付要請対応272百万円の計上などにより税金負担率が増加しましたが、経常増益により、下表のとおり予想値を上回りました。

(2) 差異の内容

	前回発表予想 (A) (2024年2月8日公表)	今回実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)
売上高 (百万円)	76,000	76,895	+895	+1.2	77,962
VCCS	55,350	55,583	+233	+0.4	46,089
CTC	12,200	12,585	+385	+3.2	22,374
FC・MD	8,100	8,373	+273	+3.4	9,051
インキュベーション センター	350	345	△4	△1.2	430
その他・調整額	—	7	—	—	16
営業利益 (百万円)	1,000	1,617	+617	+61.8	4,739
VCCS	2,750	3,100	+350	+12.7	△1,701
CTC	△950	△794	+155	—	6,169
FC・MD	50	117	+67	+135.0	795
インキュベーション センター	△850	△811	+38	—	△534
その他・調整額	—	6	—	—	10
経常利益 (百万円)	2,400	3,710	+1,310	+54.6	5,675
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,400	1,511	+111	+8.0	3,147
1株当たり当期純利益 (円 銭)	60.06	64.86	—	—	135.01

以上